

第三十一回「壺の碑」全国俳句大会（兼題）特選句

令和六年十月十四日

神野紗希先生 選

多賀城市観光協会会長賞

特選第一席 クリームとソーダのあはひものあはれ 津

森本 香子

多賀城市教育委員会賞

特選第二席 渦巻ける銀河のほとり歩荷ゆく 郡山

大河原真青

多賀城・七ヶ浜商工会会長賞

特選第三席 最後だったね冷やし中華でランチ 多摩

佐々木由紀子

第三十一回「壺の碑」全国俳句大会（兼題）特選句

令和六年十月十四日

西山 睦先生 選

特選第一席 壺の碑を巻ゆく霧の深さかな 東根 伊藤 幸
特選第二席 案山子へと手を振れば人振り返す 東京 眉山すだち
特選第三席 一天の星揃ふまでハンモック 川越 関口 幹雄

成田 一子先生 選

特選第一席 この家に静かな呼吸ラ・フランス 佐野 山野井朝香
特選第二席 いくさ終えパイヤのことばかりかな 栃木 吉成 裕
特選第三席 母に来るメモ書きほどの処暑の文 岡崎 水野 幸子

高橋 健文先生 選

特選第一席 真青なる八月の空核の傘 津 森本 香子
特選第二席 足元の砂丘八月十五日 仙台 小山あきお
特選第三席 流星やA Iに自我生まれる日 仙台 小野 豊

高野ムツオ先生 選

特選第一席 人死して人の集まる夜の秋 川崎 滝代 文平
特選第二席 遠くより来て陽炎を脱いでゐる 宮城 土見敬志郎
特選第三席 死後のこと見てゐる死者よ原爆忌 柏 岡田 春人